

キャンペーン期間中、I
HをLPガス仕様S-1セン
サーコンロ(卓上・ビルト
イン)に買い替える消費者
を対象に下取りサービスを
行うほか、料理研究家・平
野レミが考案したフライパ
ン「プレミアムレミパ
ン」を抽選でプレゼントす
る。下取り費用は会員販売
店の負担とし、金額は各自
設定する。

28日に新社屋オープン

アイティーエス 地域拠点構想を推進

アイティーエス(本社・熊本市、岩本好史社長)は二十八日、熊本市大塚二丁目七十四に新社屋をオープンする。同社の地域拠点構想の一環でもあり、隣接する敷地では家庭用燃料電池を備えるオールガス化賃貸マンションや簡易型オートガススタンドの建設計画も進められている(一部既報)。

新社屋は二階建て鉄骨造りで、建物面積約七百二十九平方メートル。一階が事務所と倉庫、二階には社長室、研修センター、多目的スペースなどを整える。

ガス機器はGTこんろ、床暖房、GHPを採用し、LPガスは九百八十キロバブルク(縦型)で供給。家庭用燃料電池の設置も検討している。

「研修センターは床暖房、エコウィルなどの施工技術を学ぶ場として、多目的スペースは社員の憩いの場とコミュニケーション空間として有効利用したい」と岩本社長。近隣にある同社・北営業所は新社屋に統合し効率化を図る。

隣接する敷地では今年二月からA重油配送センターのオールガス化賃貸マンションを建設し、全九戸のうち八戸を賃貸、一戸はモデルルームとして運用する計画。「設置予定の家庭用燃料電池は技術的な問題がクリアになれば九台連結方式としたい。太陽光発電、ソージェネレーションシステム、蓄電装置の導入も考えている」(同)。



岩本好史社長



アイティーエスの新社屋(28日のオープンに向け急ピッチで準備が進んでいる。手前はA重油配送センター)

「研修センターは床暖房、エコウィルなどの施工技術を学ぶ場として、多目的スペースは社員の憩いの場とコミュニケーション空間として有効利用したい」と岩本社長。近隣にある同社・北営業所は新社屋に統合し効率化を図る。

告知は店頭掲示用ポスター(四百五十枚)や新聞広告、中高年向けの月刊誌「セー」の裏表紙広告を潤沢なお湯の使い道として、共有スペースに足湯を設置し地域住民に開放するアイデアも浮上している。

新設予定の簡易式オートガススタンドは業務用ユーザーを対象とせず、自家使用がメイン。

新日石ガス九州(本社・大野城市、大森悦男社長)は、今年度の事業活動として、保安の確保とコンプライアンス、給湯需要開拓に

自社車両、系列販売店の所有車両などのLPG車化を促進するためのインフラとの位置づけ。メンテナンスなどアフターフォローを万全にするため、自動車メーカーとのタイアップ交渉も進行中だ。

岩本社長は「オートガススタンドは水素ステーションへの布石だ。タンクは有事に備えた備蓄でもある」と、分散型エネルギーの特徴を生かした災害時の地域拠点としての活用も見越している。



大森悦男社長

熊本。福岡は直売が主で、熊本は卸業が主体。エリアによってばらつきはあるが、単位消費量は月八〜九

福岡県協「A講座」を従業員に保

福岡県LPガス協会(寺崎和典会長)は八日から従業員向け保安教育「A講座」をスタートさせた。八月月上旬まで県内三十二会場を実施し、保安に関する最

久留米市ガス 西部ガスと地元業者が継承

譲渡先選定委が 共同新社設立準備へ 審議結果答申

来年四月一日に民営化予定の久留米市ガス事業の譲渡先を審査する「久留米市ガス事業譲渡先選定委員会」は三日、西部ガスを代表企業とするグループを市ガス事業の譲渡先とする方針を固め、答申を出した。

市議会の議決と九州経済産業局による認可などの手続は残っているが、九州で唯一残る公営ガス事業を西部ガスと地場LPガス事業者らが共同で継承すること

「久留米市ガス事業譲渡先選定委員会」は商工関係者、学識経験者、会計士、ガス事業専門家ら有識者で構成。委員会をこれまで七回開き、同グループからの事業提案書を▽経営基盤▽経営理念▽保安技術力▽地域社会貢献▽譲渡希望価格 などの面から総合的に審査した。

▽供給区域内戸数 〇六万七千三百四十四戸(前年度伸び

久留米市の平成十八年度ガス事業状況は次の通りで、需要戸数はオール電化攻勢なども原因となつて、前期比三百四十二戸の減少。ただ、総販売量は六万六千六百八十八立方メートル(八・五%)。総費用は三十五億七千九百九十二万三千円(四・六%)。▽純損失 二億一千二百四十四万九千円

東京、千葉、名古屋、広島を回る。九州燃料(現九州アストモスガス)に在籍していた時期もある。九州支店長に就く前は本社工場本部にて

九州もCP高騰、電力が優勢になった。これ

久留米市に建設する

要になる。

「これらの活動を実践していくには人材育成が重要になる。」

で顧客が減少している

が、かつてこんろや給湯器は電気が熱源だった。

それが時を経るに従いガ

福岡県協 増加数は横ばいに

福岡県LPガス協会(寺崎和典会長)がまとめた

房または給湯帯の部分電化

を占むると、八千五百八十

とや住宅着工数減少の影響もあるのではないかとみ